



1 学期の感想・反省 ▶▶▶ 7月23日(金)

2024年9月2日発行

< 3 年 >

・夏休みは毎日勉強時間をしっかり確保して勉強習慣をつくりたい。進路講演会では、夏休み受験生は1日9時間以上勉強していると聞いて驚いた。いきなり9時間勉強は、私にとってハードルが高いけれども、頑張っただけで勉強に時間を割り振れるようにしたい。補習を有効活用して、今年の夏は勉強の夏にしたい。

・夏休みが明けると、行事がたくさんあります。文化祭で経験したことを活かして、優先順位を考えて計画的に進めていこうと思います。忙しかったことを言い訳にしないで、一つ一つ確実に終わらせるように、頑張ります。

・ファッションショーでは、一から型紙を作って衣装を縫って、ウォーキングもしつつ、部活のことも並行して行ってとても大変でした。授業の課題もある中で、みんなが必死になって完成させた。まだまだ改善点はあったものの、睡眠時間を削って何とか終わることができたファッションショーに、達成感と同時に努力は裏切らないことを学ぶことができた。最後まで手を抜かず、全力で目標に向かうことの重要性を学ぶことができた。

・ファッションショーを終えて、みんなで一つの大きなものを完成させることの楽しさを感じました。シーンがまとまらなくて、衣装を全部作り直しすごく大変でしたが、今思い出せば、本当に楽しかったなと思います。やり遂げた達成感はこれからの大きな力になると思います。

・3年生になって「生活産業とマーケティング」では、現代社会の問題について知り、話し合いましたが、特に“少子高齢化”について深く考えました。多くの原因がありますが、実際に班で意見交換したことで真の問題解決に近づいたと思います。課題研究「福祉」では聴覚に障害のある方との交流や要約筆記を行いました。知っているつもりでも知らなかったことが多くあり、当事者の方の話を聞くことは、自分とは違う立場に立つ人のことを理解し、助け合って生きていくために必要だと改めて思いました。

< 2 年 >

・文化祭で見た先輩のファッションショーは本当にきれいで感動しました。それと同時に焦りというか、自分たちも来年できるのかなと不安にもなりました。先輩が被服室でファッションショーの準備をしているのを見て、一人ひとりの技術も大事ですが、それよりもクラスがひとつになって助け合い協力すること、それができるクラスであることがとても大事なのだと学びました。クラスメイトとコミュニケーションをとり合って協力してやっとなファッションショーができるんだと感じました。私も先輩方のように、自分のことだけでなく周りを見て行動し、他人事じゃなく自分事だと思い、今まで以上につながりを大切に、学校生活を送りたいです。

・私自身学んだことは、あきらめない心です。浴衣製作でもたくさん間違えて、縫ってほどいて、やり直しの繰り返しで、家で“何で自分はこんなことができないんだろう…みんなできているのに”と心が折れていたけれど、いざ完成するとその折れていた心はなかったかのように、達成感であふれました。

・2年生になり、1年生の時とは比べものにならないほど忙しくなりました。授業では作るもののレベルが上がり、課題の量も増え、眠る時間がとれない日もよくありました。でも、そんな日々だったからこそ、作り方を見て自分で理解しようとしたり、限られた時間の使い方を考えたり、丁寧に一つ一つ取り組むようになりました。また、忙しさやしんどさが分かるからこそ、クラスメイトと助け合ったり励ましあえたり、“自分だけが良ければいい”ではなく“みんながいるから頑張れる”ということ強く感じました。これからはたくさんの行事や検定などがあり、うまくいく時ばかりではないと思いますが、そんな時はみんなの手をとり合い乗り越えていけるような、思いやりあふれるクラスになっていったらいいと思います。

・検定で分からない所があったり、失敗して気分が下がったりしたときに友達が励ましてくれたり、一緒に頑張ろうと言ってくれたので、しんどいことも乗り越えられました。どんな事があっても一緒に乗り越えてくれる友達の大切さに気付くことができました。

・基平の検定に挑戦し、1着目を完成させることができ、自分の力でやり切ったことで自信がつき、いろいろなことに挑戦してみようと思いました。初めからあきらめるのではなく、挑戦することが大切だと学びました。

< 1 年 >

・ミシンやアイロンは、小中学校でもしたことがあります。使っていることのレベルが全然違うし、専門用語や細かい作業など経験したことがないことが沢山あって分らない時もありますが、楽しみながら授業を受けることができます。

・きゅうりを切る練習をしていると、日に日に枚数が増えて、練習の成果を実感できました。その結果、76枚切ることができて、本当にうれしかったです。この気持ちを忘れず、すべてに全力で向かっていきます。

・生活情報科は友達と協力することがとても大切だと分かりました。一人ではなかなかできないことも、友達とすると楽しくいろいろなことを学ぶことができました。ファッションショーや地域活動で求められる生活情報科の生徒になれるよう、もっと頑張りたいと思います。

いよいよ今日から2学期です。

3年生は、まず希望進路達成を！

そして、最後の充実した日々を全力を…

2年生は、より積極的に中堅での活躍を…

1年生は益々の基礎知識と技術の充実を…

期待しています。

卒業生の話 ▶▶▶ 7月29日(月)

・今日お話ししてくださった先輩方は、本当に輝いておられて、生活情報科のことを卒業された後でも誇りに思われていました。そんな先輩方の話を聞いて改めて素晴らしい学科だと思いました。目指している職業に就くまでの過程で自分が更にやりたいことを見つけてそれを追求されている先輩が何人もおられました。失敗を恐れずまっすぐに突き進んで、今の自分のやりたい仕事をされていて、高校時代にいろいろなことをしていたおかげですとおっしゃっていて、自信ができました。来年から大学で保育について学びますが、少し視野を広げて、将来について考えて、先輩方のように輝きたいと思います。

・今日のお話の中で、3つの言葉がとても素敵だなと思いました。「緊張してもとにかく喋る」「人に上手く甘える」「悪い所を悪口にならないように伝える」卒業生はみんな明るくて根っから優しそうで、私の背中を押してくれるような言葉、私を変えるような言葉で、私もこんな風に後輩の前に立って話せるような人になりたいなと思いました。

・”Up to you!”という言葉は、心に刺さりました。これからはしんどい時もしんどいではなく、自分が変わるチャンスだとポジティブにとらえていきたいです。

・今まで“謙虚”と言われても、あまりピンとこなかったのですが、今日の話聞いて、謙虚ってこういうことなのだと分かりました。自分の能力・地位などにおごることなく素直な態度で人に接している所を見ると、謙虚さは素敵だなと思いました。これからは素直で謙虚に生活していきたいと思いました。

・先輩方が言われていたように、明るい場の雰囲気の人に巻き込むことが大切だと改めて感じました。赤松さんはとてもお話ししやすい方で、人見知りする間を与えないくらい明るいペースで場を和ませて下さって、会話力に驚きました。私もいつか看護の場で治療するだけではなく場を和ませて明るい雰囲気に患者さんを巻き込めるようになりたいと思いました。

・私の目標は自分の住む家を一から設計デザインして作ることです。設計するのもデザインを考えるのも時間がかかるし、アイデアが浮かばないという壁にぶつかるとありますが、文化祭で衣装を考えた時みたいに、何のために誰のために作りたいのか想像して進めていけばいいと思います。足立さんが言われていた「自分の目の前にあることは直接将来に繋がるか分からないけど、いつか役に立つ」というのがどの先輩にも当てはまっていたと思います。ファッションショーに参加したからといって将来モデルやデザイナーになるわけではないけど、人前に立って表現したいこと伝えとか、人に伝えるためにはどうすればよいか、別のことに生かせる活動が生活情報科にはたくさんあるので、卒業までにたくさん経験したいです。

・美容師はお客様との交流の中でいろいろな人の人生観や経験を聞けるので、人の倍人生得している！とポジティブに考えられるのはすごく素敵だなと思った。最近進路のことで追い込まれ、私もメンタルコントロールができず、精神的に辛いけど、暗いところを見せたら家族が心配するかなと思うと自己完結しようとしてしまっている。でも人に頼ることも大切なのだと思った。「悪口は意見だ！」とアドバイスした友達はずいぶんよかった。相手を認めた上で自分の意見を言うことが大切なのだと変換された。



・私の今後の課題は、生活情報科の活動に更に力を入れて参加することです。今まではアトリエなどに参加してきましたが、リーダーがしている仕事を一緒に行ったり、今までとは違う立場で自分の意見をしっかり持って参加していきたいです。ファッションショーなどの行事にも今まで何気なく参加してきましたが、自分の意見を発信しつつ、周りの意見もうまく聞いて行動できる人になりたいと思いました。

・私の今後の課題は「失敗を恐れずに何事にも挑戦する」です。今までは、失敗して怒られるのがこわくて挑戦しないで後悔することが多かったです。しかし卒業生の話聞いて「失敗して無駄なことはない」「失敗しておこられた時に素直に受け入れる人が成長できる」とおっしゃっていた時にとても共感しました。おこってくださいの方がいることで自分は成長できるし、たとえおこられたとしても自分のために言うてくださっているのだと受け止めることが大切なのだと改めて感じさせられました。これからはいろいろなことに挑戦して、今の自分を成長させたいと思いました。

・私の今後の課題は2つあります。1つ目は、人の良いところをもっと見つけて、クラスメイトとして、どんな時でも味方でありたいと思っています。この1年、正直苦手な子もいたし、悪い行動を見つけてしまうことがありました。でも、みんなの良いところもたくさん気づけるようになりました。私が着付け動画のリーダーをして、仲の良い子で集まったグループでないからこそ、一人ひとりのことをよく知ることができました。あまり話をしたことがない子が私の話を聞いてくれて、わざわざ時間をとって行動してくれたことが本当に嬉しかったし、助けられました。私はグループの5人に助けてもらってとてもリーダーがしやすかったから、クラスの誰かが人前に立つ時や、何か新しいことを始める時に、一番話をきちんと聞く人間でありたいし、味方でいたいと思っています。2つ目は、低姿勢で人と接するということです。卒業生の話聞いた赤松さんのように低姿勢で、先輩方からも信頼されている人に私はほど遠いと思います。もっと周りの支えてくれる人、友達に感謝して、もっと日ごろから丁寧な言葉遣いを意識して行動しないといけないと気づきました。これからは、目上の人以外でも相手への尊敬は忘れないでいたいと思いました。“親しき仲にも礼儀あり”をモットーにクラスメイトとより良い関係を築いて、高校生活だけで終わらせないでいきたいです。